令和８年度帯状疱疹ワクチンの定期接種説明書

帯状疱疹とは

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。帯状疱疹は、70 歳代で発症する方が最も多くなっています。

対象となる方　大町市に住民票のある以下の方

① 年度内に 65 歳を迎える方

② 60～64 歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

③ 令和７年度から令和 11 年度までの５年間の経過措置として、その年度内に 70、75、80、85、90、95、100 歳となる方も対象となります。

※101 歳以上の方については、令和７年度で終了しました。

接種期間　令和８年４月１日～令和９年３月 31 日

費用　自己負担　組換えワクチン１回６，６００円×２回　生ワクチン２，６００円×１回

接種を受ける際に医療機関でお支払いいただきます。組換えワクチンを接種した場合は、2 回目も原則同じ医療機関での接種をお願いします。

帯状疱疹ワクチンとは

帯状疱疹ワクチンには生ワクチン（阪大微研：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)、組換えワクチン（GSK 社：シングリックス）の２種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なっていますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

なお、**組換えワクチンについては、原則として２か月以上の間隔を置いて 2 回接種する必要があります。年度内に接種を完了するために、希望される方は早めに接種を受けるようご注意ください。**

	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
接種回数（接種方法）	１回（皮下に接種）	２回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	―	通常、２か月以上の間隔を置いて２回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を１か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後３か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後６か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

その他に、接種前に発熱を呈している方、重篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンをも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、帯状疱疹ワクチン（生ワクチン、組換えワクチン）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

帯状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
帯状疱疹に対するワクチンの効果（報告）	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	－	7割程度の予防効果

※　合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

帯状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
70%以上	―	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1％以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状　各社の添付文書より厚労省にて作成

他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン（阪大微研）については、他の生ワクチンと 27 日以上の間隔を置いて接種してください。

接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込む場合は、予防接種を受けた後に大町市中央保健センターにご相談ください。

市内の実施医療機関

接種を希望される方は、下記医療機関へ予約（一部不要）のうえ接種してください。

実施医療機関名	TEL	組換え ワクチン	予約	生 ワクチン	予約
いしぞね内科・外科クリニック	23-2555	○	要	×	－
遠藤内科医院	22-0031	×	－	○	要
小野医院	22-0047	×	－	○	要
柿下クリニック	21-1230	○	要	○	要
かさぎ皮ふ科	23-7723	○	要	×	－
永井眼科医院	22-1555	×	－	○	要
野村クリニック	85-0085	○	不要	○	要
平林耳鼻咽喉科医院	26-3030	○	要	×	－
横澤内科医院	22-0371	×	－	○	要
大町市国保八坂診療所	26-2814	○	要	×	－
大町市国保美麻診療所	29-2015	○	要	×	－
市立大町総合病院	22-0415	○	要	×	－

帯状疱疹ワクチンについてもっと詳しく知りたい方はこちら
厚生労働省ホームページ　厚労省　帯状疱疹ワクチン　検索

大町市大町 1058-13
大町市中央保健センター
TEL　0261-23-4400